

平成31年3月8日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題

「どげでも守ろう！ いずもぶどう」

(ダイジェスト)

いずもぶどう産地再生プランは「どげでも守ろう いずもぶどう」をスローガンに、課題に応じて分科会を立ち上げ、具体的な対策を進めています。

特に青年部では、5つの分科会を立ち上げ、女性部・技術部等と連携しながら検討を進めており、3月1日に開かれた青年部総会で、その進捗状況が報告されました。

出雲市のぶどうは県内最大の産地ですが、従事者の高齢化、労力不足、資材の高騰等の課題があります。いずもぶどう部会では、今後の産地の維持・発展のため再生プランを策定しました。

いずもぶどう産地再生プランは①単収の増加、②単価の向上、③経費の軽減（省力化）④新規就農者の確保・規模拡大、⑤重作業委託者の組織化・法人化の5つの大課題とその下の24の小課題に整理されています。

各課題に対する役割分担を、部会組織の技術部、女性部、青年部等に明確化し、分科会方式で検討を進めてきました。

青年部でも、分担された課題に対し検討を進め、この度の総会で、進捗状況の共有・報告および意見交換がされました。その概要（一部抜粋）が以下となります。

#### 1. 販売戦略分科会

- ①5月出荷デラウェアの安定化 → ハウス被覆時期促進の呼びかけと所得向上研修会開催
- ②島根（出雲）のぶどうの認知度向上手段の検討

#### 2. デラウェアとシャインマスカットの両立分科会

- ①労働時間を記録し、可視・効率化 → 営農モデル作成や雇用時期の参考に
- ②省力化技術の相互研修（優良園視察、技術共有）

#### 3. 新規就農分科会

- ①定住財団、しまね農業振興公社等を通じ、就農へ部会も積極関与  
→青年部員も積極的に産業体験、就農前研修の受入実施へ
- ②農家子弟へのアプローチの方法も併せて検討

#### 4. 期間労働力の確保分科会

- ①依頼希望作業のアンケートから、求人・求職の調整を実施

#### 5. 組織化・法人化分科会

- ①青年部で行っているハウスビニル張り等の作業班活動を効率化  
→バラバラだったビニル張り要望の時期を事前に受託調整



写真1. 総会の様子

ぶどう部会一丸となった取り組みを、JA、出雲市、県は積極的に支援しています。